

制度概要

流域マネジメントに取り組む、又は取り組む予定の地方公共団体等を対象に、流域水循環計画の策定・実施に必要な技術的な助言・提言を行う「水循環アドバイザー制度」による支援を実施。

※申し込みや不明な点は下記「申込・問合せ」へご連絡先ください

募集要件

- ◆対象団体 流域水循環計画の策定・実施に取り組み、又は取り組む予定の地方公共団体等の団体(流域水循環協議会及びその構成員を含む)
- ◆募集期間 令和5年7月3日(月)～令和6年2月29日(木) (派遣時期は年度中)
- ◆派遣形式 現地派遣、オンライン会議(両方の併用も可能)
- ◆費用関係 派遣費用・謝礼金等は無料(内閣官房水循環政策本部事務局で支出)
- ◆対象分野 流域水循環計画の策定、水質改善、地下水、水インフラ、地域振興、防災・減災、水辺空間、水文化、普及啓発・広報、教育・人材育成等、関係者や職員を対象とした会議や勉強会等の講師としての派遣も可能です(派遣事例は裏面を参照)

支援の流れ

内閣官房 水循環政策本部 事務局

- 申請書の内容を審査し、支援の決定を通知
- 申請を踏まえ、必要に応じて、申請団体及び候補者と調整を行った上で、申請団体に候補者を提示

水循環アドバイザーを
決定

地方公共団体等から
支援を申請

水循環アドバイザー

- 流域マネジメントに関して一定の知識を有する有識者や地方公共団体の職員等



現地派遣やオンライン会議による
助言・提言、
情報提供等

※現地派遣は最大3日以内、
オンライン会議は最大10時間以内

地方公共団体等

(流域水循環協議会及びその構成員を含む)

- ・解決困難な課題が発生
- ・知見や助言が必要等

- ・流域水循環協議会の設立、運営
- ・関係者間の合意形成
- ・課題や目標の設定
- ・地域や住民の関わり方
- ・専門的な知見や経験等

- 課題の解決、知見の習得等により、流域マネジメントの取組の更なる展開と質の向上に貢献



申込・問合せ

内閣官房水循環政策本部事務局(国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部内)
Tel:03-5253-8389 E-mail:hqt-mizujyunkan@ki.mlit.go.jp
URL:https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/mizu_junkan/index.html

令和4年度水循環アドバイザー制度による支援概要

福島県

1. 形式: 現地派遣、会議
2. 内容: 福島県地方流域水循環協議会における、水環境活動活性化に向けた上下流連携の課題と可能性などについての講演及び助言
3. 実施日: 令和5年2月8日
4. 水循環アドバイザー: 名古屋大学大学院 工学研究科 准教授 中村 晋一郎 氏

滋賀県東近江市

1. 形式: 現地派遣、会議
2. 内容: 地下水に関する勉強会における、地下水と森林の関係等についての講演及び助言
3. 実施日: 令和5年1月31日
4. 水循環アドバイザー: 東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 蔵治 光一郎 氏

神奈川県秦野市

1. 形式: 現地派遣、会議
2. 内容: 地域の名水等に関する知見を有する住民等に対する、地下水保全の取組や名水を活用した普及啓発事業についての講演及び助言
3. 実施日: 令和5年2月11日
4. 水循環アドバイザー: 筑波大学 生命環境系 教授 辻村 真貴 氏

大阪府摂津市

1. 形式: 現地派遣、会議
2. 内容: 農業用水路を活用した都市域の水環境改善を図るための計画検討に対する助言
3. 実施日: 令和4年11月16日
4. 水循環アドバイザー: 愛媛大学大学院 農学研究科 教授 武山 絵美 氏

福井県大野市

1. 形式: 現地派遣、会議
2. 内容: 流域水循環計画に基づき、効果的に施策を実施していくための教育、普及啓発、広報、情報発信等についての助言
3. 実施日: 令和4年7月1日
4. 水循環アドバイザー: 東京学芸大学 環境教育研究センター 教授 吉富 友恭 氏

愛媛県松山市

1. 形式: 現地派遣、会議、オンライン会議
2. 内容: 流域水循環計画に基づき進めている若年層向けの水に関する教育、普及啓発に関する講演及び助言
3. 実施日: 令和4年11月1、2日、令和4年12月6日
4. 水循環アドバイザー: 特定非営利活動法人 雨水市民の会 理事 笹川 みちる 氏

令和3年度水循環アドバイザー制度による支援概要

秋田県にかほ市

1. 形式: 現地派遣、会議
2. 内容: にかほ市版水循環計画の策定と推進にあたり、プロジェクトチーム、その他職員を対象とする勉強会へのアドバイザー派遣
3. 実施日: 令和3年10月19日
4. 水循環アドバイザー: 名古屋大学工学研究科 准教授 中村 晋一郎 氏

大阪府大阪狭山市

1. 形式: 現地派遣、会議
2. 内容: 流域水循環計画を策定するにあたっての技術的助言
3. 実施日: 令和3年11月22日
4. 水循環アドバイザー: 滋賀県 琵琶湖環境部 技監兼琵琶湖保全再生課長 三和 伸彦 氏
琵琶湖保全再生課 主任主事 曾我部 共生 氏

福島県

1. 形式: オンライン会議
2. 内容: 「地方流域水循環協議会研修会」において、水環境活動活性化に向けた若者の参画や支援者・後継者の獲得などについての基調講演及び助言
3. 実施日: 令和4年1月18日
4. 水循環アドバイザー: 特定非営利活動法人 雨水市民の会 理事 笹川 みちる 氏

大阪府摂津市

1. 形式: オンライン会議
2. 内容: 農業用水路を、淀川の水を利用して自然環境に配慮した水辺空間を形成し、都市域の水環境改善するための計画策定への助言
3. 実施日: 令和4年1月24日
4. 水循環アドバイザー: 愛媛大学大学院 農学研究科 教授 武山 絵美 氏

栃木県小山市

1. 形式: 現地派遣、会議
2. 内容: まちづくりの基盤となる業務に携わる市職員が、水循環の視点を取り入れて流域でまちづくりを考え、住民とともに施策を創り上げていく能力を開発・育成することを目的とした勉強会へのアドバイザー派遣
3. 実施日: 令和4年1月25日
4. 水循環アドバイザー: 株式会社ソトコト・プラネット 代表取締役・ソトコト編集長 指出一正 氏

愛媛県松山市

1. 形式: 現地派遣、会議、オンライン会議
2. 内容: 今後、人口減少や気象変動が予測される中で、水事情が厳しい松山市が進むべき方向について、専門的な立場からの助言
3. 実施日: 令和3年10月25、26日、令和4年2月10日
4. 水循環アドバイザー: 東京大学大学院 工学系研究科 教授 滝沢 智 氏

水循環シンポジウム

参加費
無料

「水循環をはじめる」
～水循環アドバイザー制度の活用効果～

主催：内閣官房水循環政策本部事務局



2024年2月9日(金)13:30～

申込URL <https://forms.gle/EK1Ag88i8wwHJMabA>

令和6年2月2日(金)17:00〆切 ※会場参加は、定員(100名)になり次第終了させていただきます
水循環政策本部Webサイト内<お知らせ>及び内閣官房水循環政策本部事務局Webサイト内「新着情報」でもご案内しています

会場 **fabbit会議室 丸の内 カンファレンスルームA/オンライン併用**

プログラム

情報提供 「流域マネジメントについて」 内閣官房水循環政策本部事務局

事例発表

「めぐる「水」ともに生きる大阪狭山」

大阪府大阪狭山市 水資源部 部長 三井雅裕 (R5.9 流域水循環計画公表)

「節水型都市づくりの推進に向けて」

愛媛県松山市 総合政策部 水資源対策課 主査 越智美香子 (R3.3 流域水循環計画公表)

「大野市の地下水とイトヨ」-水循環アドバイザー制度を活用した施設展示の更新-

福井県大野市 暮らし環境部 環境・水循環課 課長 田中九一郎 (H29.1 流域水循環計画公表、R3.7 改定)

パネルディスカッション 「水循環アドバイザー制度の活用効果」

パネリスト

- ・[水循環アドバイザー] 東京学芸大学 環境教育研究センター教授 吉富友恭 (ファシリテーター)
- ・[水循環アドバイザー] 筑波大学 生命環境系教授 辻村真貴
- ・[水循環アドバイザー] 滋賀県 琵琶湖政策・MLGs推進担当理事 三和伸彦
- ・福井県大野市 暮らし環境部 環境・水循環課 課長 田中九一郎
- ・大阪府大阪狭山市 水資源部 部長 三井雅裕
- ・愛媛県松山市 総合政策部 水資源対策課 主幹 松本忠輝

(敬称略)

CPD 建設系CPDプログラム申請予定

[注]報道関係者による現地取材は可能ですが、事前登録が必要です。詳しくは事務局までお問合せください

【問い合わせ先】 水循環シンポジウム事務局 (公益財団法人リバーフロント研究所)

藤井・後藤 mizu2023@rfc.or.jp

※受領確認メールが届かない場合には、TEL:03-6228-3861 (藤井・後藤) までご連絡ください



会場案内図

fabbit会議室 丸の内 カンファレンスルームA

■所在地

東京都千代田区丸の内1-8-1

丸の内トラストタワーN館19F



**「丸の内トラストタワーN館」に入り、
高層階用エレベーターで19階までお上がりください。**

■アクセス

- ・東京駅：日本橋口より徒歩1分、八重洲北口より徒歩3分
- ・大手町駅：B9b出口より徒歩1分
- ・日本橋駅：A3出口より徒歩4分

CPD 建設系CPDプログラム申請予定

[注]報道関係者による現地取材は可能ですが、事前登録が必要です。詳しくは事務局までお問合せください

【問い合わせ先】

水循環シンポジウム事務局（公益財団法人リバーフロント研究所）

藤井・後藤 mizu2023@rfc.or.jp

※受領確認メールが届かない場合には、TEL:03-6228-3861（藤井・後藤）までご連絡ください